

## 立教大学 関東・甲信静地区 高校生探究学習発表会参加

立教大学で開かれた、第4回関東・甲信静地区高校生探究学習発表会に探究学習委員4グループ13名が参加してきました。レベルが高いプレゼンやポスターばかりで、生徒たちはおおいに刺激を受けたようです。

1 日 時 令和元年12月15日(日)

2 場 所 立教大学池袋キャンパス

3 主な参加校

渋谷教育学園渋谷中学高等学校、東京学芸大学附属国際中等教育学校

順天高等学校、群馬県立中央中等教育学校、新潟県立国際情報高等学校

長野県立長野高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、創価高等学校 等 20校

4 本校の発表グループ

プレゼンテーション(英語) 「観光産業による地方都市の活性化」

プレゼンテーション(日本語) 「日本人の積極性の向上」

ポスター(英語) 「スクールカウンセリングの向上について」

ポスター(日本語) 「海洋ゴミ問題抑制プロジェクト」

5 生徒の感想

・僕は今回の立教大学での発表を通して、自分達の発表のメタ認知の向上を図ることができたと思います。他校の発表を聞いていると自分の英語力不足を感じましたが、それ以上に「発表慣れしていない」ということを常に感じたので、プレゼンにおいて自分の意見を言うためにもこのような経験をもっと多く積んでいくべきだと思いました。

今回の機会を通し特に印象に残っているのが、僕たちの班の審査をしていただいた教授がおっしゃっていた、「ロジックが通ってないと話が繋がらないよ」というお話です。僕たちの班では結論に調査として発表したものと関連のないものを述べてしまっており、気づかずにいました。「ロジック」というプレゼンで最も根本的な部分を留意すべきだと改めて思ったきっかけとなりました。この貴重な経験を忘れず、今後の論文作成に活かしていきたいと思います。

・発表を通して、紙袋を普及させていくために、企業と協力して、ロゴを作るなどして、より多くの人に使ってもらえるような方法で進めていきたいと思います。実際に紙袋を作ったことで、聞いている人にイメージをよく伝えることができよかったです。

・自分達の発表では、スムーズに、練習通りにできたのでよかったです。只、質疑応答の時間になるとその場で考えて発言をしなければならぬと少し詰まってしまうところもあったので、そういったことにも対応できる練習をしておかなければいけないなと思った。

他校の発表ではまず英語力の高さに驚かされたが、英語プレゼンでも必ずしも英語が上手な班が受賞をしているわけではなく、改めてプレゼン力、相手に伝える力の大切さを感じた。

・他の学校の人たちの発表を聞いてレベルの高さに驚き、またそこから学べることが多くとても有意義な時間を過ごすことができました。研究をする分野が違って、プレゼンの仕方・パワーポイントの作り方はもちろん、視野の広げ方などとても参考にできるものが多かったです。立教大学でのこの経験を通してこれからの自分たちの探究がさらに良いものになるよう多くの人と協力し関わり合いながら進めていきたいです。



